



アンサンブル



2024.12.12
No. 17

お互いを自分のことのように思うこと ～人権講話～

朝会で、人権についての話をしました。

ある日、Aさんは公園でシャボン玉を飛ばして遊んでいました。Aさん、自由に遊べて楽しそうです。するとそこに！Bさんが現れました。

「なんだあ～、Aのくせに、シャボン玉なんかで遊んでるぞオ！」

BさんはAさんのそばに行って横に立ち、Aさんのシャボン玉を吹く管に向かってうちわをあおぎました。うちわの風で、ふくらみかけたシャボン玉が揺れてゆがんで、飛ばずに壊れます。Bさんはそれが面白く、ゲラゲラと笑いながら続けました。

Aさんは言いました。

「Bさん、やめて！ 楽しく遊んでるんだから。」

Bさんは言いました。

「Aはシャボン玉を吹くのが楽しいんだろう。おれは、Aのシャボン玉を壊すのが楽しい。お互いに楽しいからいいじゃんかよオ。だいたい、Aのくせに、シャボンだ～ま～？そんな遊びしかできないのかよ！」

さて、これいいですか？……

でも、Bさんもシャボン玉壊して自由に楽しく過ごしているんですよ。BさんはBさんで楽しいからいいですよ？……

そう、その通りです。その人が楽しんでいることを邪魔するのはいけません。それも、邪魔するだけでなく、邪魔することを楽しむなんてダメですよ。

これは「いじめ」と言えることです。「いじめ」も人権の問題なんです。

それからBさんの言い方に大きな問題が一つあります。気づきましたか？そうです、なんで「Aのくせに…」って言うんですか？AさんはAさんで、何かよくないんですか？「Aのくせに」の「くせに」って何？どういうことでしょうか？皆さんも自分の名前に「〇〇のくせに」って言われたらどうですか？嫌な言葉ですよ。何で言うんでしょうか？人を傷つける言い方はいけませんね。いやですよ。

最後にまとめます。

人権という言葉は難しいです。人として、自由に幸せに生きる権利のことを言います。そして、その人権は、「お互い、自分のことのように思うこと」、「隣人を自分のように愛すること」から生まれる態度と行動でできることなのです。

みなさんも、毎日、お友だちと「お互いを自分のことのように思うこと」を第一にして過ごしてほしいです。

「お互いを自分のことのように大切に思うこと」。

これが実現すれば、世の中の争いごとやいじめはなくなると思います。

